

## 職場環境向上に利用

国土交通省が10月以降に直轄土木工事の入札で原則導入を求める「快適トイレ」。同省が標準仕様を満たした製品を集めた事例集には、より快適な空間をもたらす機能を付加した道内企業の製品が数多く掲載されている。国による費用の実

費負担で導入しやすくなるため、メーカーやレンタル会社は製品普及を期待する。

臭い、狭い、汚いといったネガティブイメージのある現場の仮設トイレだが、近年は女性進出もあって、女性向けに設備が充実した

清潔できれいな製品が増えている。

男女とも働きやすい環境をつくらうと、国交省は快適に利用できるトイレの標準仕様を定め、全国のメーカーやレンタル会社に製品を募集。仕様を満たした30社の68製品を事例集としてまとめた。

直轄土木工事では10月以降、快適トイレの全面導入を図る方針で、申請に応じて1基月額4万5000

円を上限に実費負担する。上限超過分はイメージアップ経費からの支出を認めるなどして導入しやすくする。



北海産業の車載トイレ。快適なトイレとLED表示板機能を合わせ持つ

ンブルで機能性を追求するものが主流だ。

道内企業を見ると、共成レンテムの「快適空間トイレ」シリーズ2製品は標準仕様に加え、推奨仕様、付属品6項目を満たした。ポンプ付きの手洗い洗面台など充実装備のほか、エアコン設置による快適な空間確保も可能で、同社は「現場の環境改善に貢献したい」と話している。

北海産業からは推奨6項目を満たすハウスタイプの「快適パウダートイレ」など3機種のほか、道内では唯一、車載型の「快適車載トイレ」が掲載された。

カナモトは「快適KKトイレ」の2製品がピックアップされた。微生物分解を使ったバイオトイレを提供する正和電工は「女性の為の仮設バイオトイレ」4製品が盛り込まれている。

これまで是一般品に比べ価格が高いことがネックだった快適トイレ。メーカーが台や衛生用品や設備といった付属品、広さなど推奨仕様を満たすものが多く、シ

## 道内企業の製品も多数紹介

# 省 快適トイレで事例集

国 交

## 現場標準仕様の68件掲載

国土交通省は27日、男女ともに快適に使用できる建設現場の仮設トイレ『快適トイレ』の事例集をまとめ、ホームページで公開した。同省が8月

に定めた快適トイレの標準仕様を満たすトイレ68件を掲載している。10月1日以降に入札手続きを始める直轄土木工事で、この快適トイレを原則導入することになっている。事例集に掲載された製品をはじめ、標準仕様を満たした仮設トイレを導入すれば、費用を実費精算で発注者側が負担する。

事例集には、全国のトイレメーカー・レンタル会社30社が応募した68件の仮設トイレを掲載。国交省が標準仕様で定めた洋式便座、水洗機能（簡易水洗）、尿処理装置付（含む）、臭い逆流防止機

能（フラッパー機能）、容易に開かない施錠機能（二重ロックなど）、照明設備（電源不要）、衣類掛けなどのフック付きか荷物置場設備機能（耐荷重5kg以上）の6つの機能を最低でも備えている。標準仕様と合わせて規定した擬音装置やフィッティングボードなどの「推奨する仕様、付属品」を備えた製品も盛り込まれている。標準仕様などに合わせ、製品を改良したメーカーもあったという。

国交省は、10月1日以降に入札手続きを開始する直轄土木工事に原則として快適トイレを全面導入する。受注者の申請に応じ、発注者である国交省は1基当たり月額4万5000円を上限に実費精算で費用を負担する。上限を超える費用も、共

通仮設費の「イメージアップ経費」からの支出を認めるため、受注者は費用負担がない形で快適トイレを現場に設置することができるとが。

「推奨する仕様、付属品」の項目を6つ満足する製品として道内からは共成レンテム（本社・帯広）の快適空間トイレIと快適空間トイレIIが選ばれている。

### コンクリート中性化対策で技術公募

国 交 省

ト構造物を長寿命化するために有効な手段として活用されているが、長期的な効果や持続性などが必ずしも明らかではないため、応募の技術を対象に性能評価試験を行う。国交省は、2015年度に塩害対策を目的に新技術を公募して暴露試験を実施しており、今回は中性化対策を対象に含浸材の性能を評価する。含浸材の長期性能を評価する5年間の追跡調査も行う。

応募条件は、すでにNETISに登録されている技術。未登録の技術でも、公募の締め切りまでにNETISに登録すれば応募が可能。

公募に関する問い合わせは、中部地方整備局企画部施工企画課、電話052（953）8180まで。

含浸材は、コンクリート

12月2日まで技術を募集し、供試体の性能評価試験や追跡調査を行う。